

報告日：令和5年5月23日

名 称	令和5年度 第1回隣保館運営審議会会議録
日 時	令和5年5月18日（木）午前10時00分～11時05分
場 所	隣保館2階会議室
出席者	委員：吉井和夫、町田広明、金子俊子、林部千鶴子、福田副市長、 亀山保健福祉部長、竹澤経済部長（欠席）藤田義昭、古澤良昭 事務局：福田市民部長、斎藤人権・男女共同参画課長、渡邊隣保館館長、 福田生活相談員
内容及び 結果等	1 開会 司会進行 斎藤課長 2 委員紹介（自己紹介） 3 議題 （1）正副委員長選出 委員長 福田委員 副委員長 吉井委員 （2）令和4年度事業実績について 【原案通り承認】 亀山委員：相談事業の健康に関して、相談者の年代と内容について伺いたい。 事務局：年代は70～90代。老々介護や介護申請の手続きの相談などです。 （3）令和5年度事業計画（案）について 【原案通り承認】 委員長：県隣協、全隣協に関して、令和6年度は複数役職が回ってくるが。 事務局：県隣協会長は4市の持ち回りで R6 鹿沼市が会長。全隣協も今年から 輪番制、R6 栃木県（鹿沼市）に会計が回っている。 竹澤委員：市の人権のシンボル、サツキの花を、鹿沼さつき祭りでいわれや理 由をアピールしてはどうか。 委員長：いい機会なので、改めて周知することは大切、何らかの形で PR をお願 いする。 4 その他 吉井副委員長 三幸町は昔、火葬場やト殺場があったことから、不動産取引な どで地域差別が残っている。依然として、差別や偏見は続いている状 況を認識し、隣保事業に取り組んでほしい。 中央地区支えあいボランティア活動について、様々な形で PR している が地域に浸透していない。アンケートをとると草刈りや家の清掃など 困っている家庭は多い。友愛訪問した際に PR してほしい。 （裏面へ）

	<p>福田委員長：同和対策事業について特別措置法の期限が切れて一般対策に移行、同和問題は人権にシフトし、解決したわけでもないのに解決したと錯覚、同和問題への意識が薄れていると感じている。吉井副委員長の話を伺って、改めて重要な課題であると認識、同和・人権問題の解決に向け努力していく。</p> <p>事務局： 支えあいボランティア活動に関して、隣保館だよりや友愛訪問を通して、PRしていきます。</p> <p>金子委員： 新市庁舎式典で苦情を聞いた。式典出席者には椅子が用意されていたが、市民には用意されていなかった。</p> <p>福田委員長： 鹿沼さつき祭りと芭蕉の笠替えのPR</p> <p>5 閉会</p>		
配布資料	令和5年度 第1回鹿沼市隣保館運営審議会次第（鹿沼市隣保館作成）		
次回予定	令和5年11月		
記録者	渡邊（隣保館長）		
鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条に基づく審議会等の公開状況 （該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要）			
公開・非公開の別	公開	（公開の場合）傍聴人数	0人